

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2008-204984(P2008-204984A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-36085(P2007-36085)

【国際特許分類】

H 0 1 G 9/26 (2006.01)

H 0 1 G 4/38 (2006.01)

H 0 1 G 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 9/00 5 2 1

H 0 1 G 4/38 A

H 0 1 G 9/00 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月27日(2010.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一方の端面に端面電極を有するとともに、他方の端面から側面にかけて前記端面電極とは異なる極性の側面電極を有し、前記端面電極と前記側面電極の間には絶縁部材が配置され、  
並設配置された複数のキャパシタと、  
このキャパシタの前記端面電極に接続されるとともに一部が隣の前記キャパシタの前記側面電極と接続されるバスバーと、  
前記複数のキャパシタの前記一方の端面側に配置された回路基板とを備え、  
前記バスバーから前記回路基板に向けて設けられた導電部を介して前記バスバーと前記回路基板を電氣的に接続したキャパシタユニット。

【請求項 2】

前記バスバーの、一方の端面電極接続部近傍に屈曲部を設けた請求項 1 に記載のキャパシタユニット。

【請求項 3】

前記キャパシタの前記端面電極を有する前記一方の端面、及び前記他方の端面をそれぞれ挿入することにより前記キャパシタ同士を互いに平行に保持する第一の固定ケース及び第二の固定ケースと、  
前記第一の固定ケースの上面に設けた、前記バスバーの前記側面電極との接続部分を挿入するバスバー孔と、  
前記接続部分を前記バスバー孔に挿入した際に、前記第一の固定ケースの側面における前記接続部分と対向する位置に設けた貫通孔とを備えた請求項 1 に記載のキャパシタユニット。

【請求項 4】

前記キャパシタの前記端面電極を有する前記一方の端面、及び前記他方の端面をそれぞれ挿入することにより前記キャパシタ同士を互いに平行に保持する第一の固定ケース及び第二の固定ケースと、

前記キャパシタの一方の端面または他方の端面に設けられた調圧弁とを備え、  
前記第一の固定ケースまたは前記第二の固定ケースには、前記調圧弁と、前記バスバー及び前記回路基板とを隔てるカバー部を形成した請求項 1 に記載のキャパシタユニット。

【請求項 5】

前記複数個のキャパシタは互いに平行な横置き状態で配置されるとともに前記調圧弁は前記キャパシタの中心軸よりも上部に配置された請求項 4 に記載のキャパシタユニット。

【請求項 6】

一方の端面に端面電極を有するとともに、他方の端面から側面にかけて前記端面電極とは異なる極性の側面電極を有し、並設配置された複数個のキャパシタと、  
このキャパシタの前記端面電極に接続されるとともに一部が隣の前記キャパシタの前記側面電極と接続されるバスバーと、  
前記複数個のキャパシタの前記一方の端面側に配置された回路基板と、  
前記バスバーから前記回路基板に向けて設けられ、前記バスバーと前記回路基板を電氣的に接続する導電部と、  
前記キャパシタの前記端面電極を有する前記一方の端面、及び前記他方の端面をそれぞれ挿入することにより前記キャパシタ同士を互いに平行に保持する第一の固定ケース及び第二の固定ケースとを備え、  
前記バスバーの前記側面電極との接続部分を前記側面電極にはめ込んだ状態で、前記キャパシタを前記第一の固定ケース、および前記第二の固定ケースに挿入し、  
前記バスバーと前記端面電極を溶接接合した後、  
前記接続部分と前記側面電極を溶接接合するキャパシタユニットの製造方法。

【請求項 7】

一方の端面に端面電極を有するとともに、他方の端面から側面にかけて前記端面電極とは異なる極性の側面電極を有し、並設配置された複数個のキャパシタと、  
このキャパシタの前記端面電極に接続されるとともに一部が隣の前記キャパシタの前記側面電極と接続されるバスバーと、  
前記複数個のキャパシタの前記一方の端面側に配置された回路基板と、  
前記バスバーから前記回路基板に向けて設けられ、前記バスバーと前記回路基板を電氣的に接続する導電部と、  
前記キャパシタの前記端面電極を有する前記一方の端面、及び前記他方の端面をそれぞれ挿入することにより前記キャパシタ同士を互いに平行に保持する第一の固定ケース及び第二の固定ケースと、  
前記第一の固定ケースの上面に設けた、前記バスバーの前記側面電極との接続部分を挿入するバスバー孔と、  
前記接続部分を前記バスバー孔に挿入した際に、前記第一の固定ケースの側面における前記接続部分と対向する位置に設けた貫通孔とを備え、  
前記キャパシタを前記第一の固定ケースと前記第二の固定ケースに挿入保持した状態で前記接続部分を前記バスバー孔に挿入し、  
前記バスバーと前記端面電極を溶接接合した後、  
前記貫通孔を介して前記接続部分と前記側面電極を溶接接合するキャパシタユニットの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

そして、この目的を達成するために本発明は、一方の端面に端面電極を有するとともに、他方の端面から側面にかけて前記端面電極とは異なる極性の側面電極を有し、前記端面電極と前記側面電極の間には絶縁部材が配置され、並設配置された複数個のキャパシタと

、このキャパシタの前記端面電極に接続されるとともに一部が隣の前記キャパシタの前記側面電極と接続されるバスバーと、前記複数個のキャパシタの前記一方の端面側または他方の端面側に配置された回路基板とを備え、前記バスバーから前記回路基板に向けて設けられた導電部を介して前記バスバーと前記回路基板を電氣的に接続したキャパシタユニット構成とした。